

2 コミュニティ活動の活性化

<基本計画の目標>

地域における人間的なつながりを大切にしたい地域のコミュニティの充実を図り、市民自治を着実に推進します。コミュニティ活動やボランティア活動の活性化を図るため、市民意識の啓発に努めるとともに、活動団体への情報提供や活動の場の設定などの支援に努めます。

<目標指標>

目標指標	目標指標の定義	当初値	H18	H19	H20	H21	H22年度 目標値	H27年度 目標値
自治町内会の組織率(+)	全世帯数に占める自治会町内会加入世帯数の割合	82.7 %	83.4 %	84.8 %	83.4 %	82.9 %	83 %	83 %
コミュニティ活動拠点の整備率(+)	地域コミュニティ活動の拠点となる公会堂の整備率	43 %	44 %	43.5 %	43.2 %	43.2 %	46 %	49 %
地域コミュニティ活動参加率(+)	ここ1年間で、自治町内会活動などの地域コミュニティ活動に参加したことがある市民の割合	43.6 %	39.4 %	40.8 %	41.1 %	42.1 %	45 %	46 %
市民満足度	コミュニティ活動が活発に行われているかについて、市民が実感している割合	47.4 %	51.2 %	53.4 %	54.5 %	58.2 %	50 %	55 %

<これまでの取組の評価～進捗と課題>

評価：◎80%以上の成果、○50%以上の成果、△30%以上の成果、×30%以下の成果

・経営企画部

<昨年度からの課題>

平成20年度に大町地区、玉縄地域でのモデル事業をスタートさせ、平成21年度はそれぞれ着実に事業を進めることができました。大町地区では平成20年度に作成した防災マップをベースに、「地域防災」の視点で必要と思われる情報を盛り込んだ「大町地区防災マップ（保存版）」を作成し、大町地区全世帯に配布しました。また、玉縄地域では平成20年度に立ち上げた地域コミュニティサイト「マイタウン玉縄」を引き続き運営し、コンテンツの充実等に努めるほか、情報弱者対策としてパソコン講習会を開催しました。

どちらの取組においても地域の方々の自主的で、積極的な参加が得られ、地域コミュニティの基盤づくりに役立つ方策となり得るものにできたと考えています。

目標指標の活動参加率、市民満足度が向上していますが、これは、当該事業を含む市のすべての施策による効果であると考えます。

<進捗>

どちらのモデル事業も年度目標は達成できました。

<課題>

今年度は玉縄についてはサイトの構築、大町については地域カルテの取りまとめ、防災マップの作成など当初予定していたメニューはすべて終了し、これまでの検証作業を行う必要があり、今年度これに取り掛かる予定です。

担当部の評価



・市民経済部

<昨年度からの課題>

地域コミュニティの活性化に向けたモデル事業の成果と課題をきちんと評価し、今後の他地域への展開について方向性を示す必要があります。

<進捗>

自治会・町内会の活動拠点である公会堂等の改良費補助を7件行い、コミュニティ活動やボランティア活動の場の提供に寄与しました。また、大町地区と玉縄地域において進められている地域コミュニティの活性化に向けたモデル事業についても、幅広い世代の方の参加により着実に進捗することができました。

<課題>

モデル事業の検証、今後の他地区、他地域への展開について引き続き検討していく必要があります。

担当部の評価



<今後の展開(取組方針)>

・経営企画部

- ・大町地区・玉縄地域におけるモデル事業の検証作業
- ・大町地区・玉縄地域におけるモデル事業を市民の皆さんに知っていただくためのフォーラムの実施
- ・「地域コミュニティ（地縁・テーマ）の活性化」から、市長が標榜する「行政センターを中心とした地域主権の確立」へのシフト

・市民経済部

- ・自治会・町内会の活動拠点である公会堂等の建設改良費補助については、引き続き行ってまいります。
- ・地域コミュニティの活性化については、大町地区と玉縄地域の取組みの検証を行い、他地区、他地域への取組みについて検討してまいります。

鎌倉市民評価委員会の評価

～評価委員は、この分野の取組について次のように評価しています。



評価できるところ

- ・鎌倉市は歴史有る町として自治町内会が充実しているが、少しずつその組織率が減少している傾向がみられる。玉縄など拠点を決めてモデル事業を進める方法も、しっかりとした基盤作りになり良い方法だと思う。
- ・腰越支所、深沢支所では地域のイベントの開催にあたって、主体となる自治会・町内会・地域の実行委員会といった地域団体の自主性を尊重するとともに、会議室の提供、イベントの準備や事務処理の手伝い等の協力や支援を積極的に行っている事は評価できる。
- ・「地域コミュニティ」（地縁・テーマ）の活性化から、「行政センターを中心とした地域主権の確立」へシフトしたことは、行政の公正・公平の確保からみて適切であると評価する。



課題・提言

- ・20代、及び、単身者が地域コミュニティ活動に参加できるような対策を取る必要があるとともに、空き家の活用や地域の資源を最大限活かして、コミュニティ活動の場を整えることが必要である。
- ・自治会・町内会は防犯・防災、まちづくり進めていくうえで極めて重要な役割を果たす。しかし自治会によってコミュニティの活性度が大きく異っている状況であり、特に、災害時等の緊急対応に差が出ると思われる。市がある程度関与して、コミュニティ活性化を促したい。インターネットを活用したコミュニティ形成も考えられるが、顔と顔をあわせた交流を重視したい。
- ・地域情報メディアには鎌倉ケーブルテレビ、タウンニュース（全戸無料配布）、鎌倉生活（全戸無料配布）、湘南モノレール沿線新聞（全戸無料配布）等がある。「マイタウン玉縄」も存在意義をしっかりと示してもらいたい。